



2020年3月13日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目5番1号
株式会社CAICA
代表取締役社長 鈴木 伸
(JASDAQ: 2315)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

2020年10月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向をふまえ、2019年12月18日に公表した2020年10月期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年10月期連結業績予想値の修正 (2019年11月1日～2020年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,326	369	242	75	0 21
今回修正予想 (B)	8,044	350	133	10	0 03
増減額 (B-A)	△282	△19	△109	△65	—
増減率 (%)	△3.4	△5.1	△45.0	△86.7	—
(ご参考) 前期実績 (2019年10月期)	7,600	△615	△1,111	△1,753	△4 86

2. 業績予想修正の主な理由

本日付「2020年10月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」にて開示しましたとおり、2020年10月期第1四半期の連結業績は、売上高1,667百万円、営業損失△179百万円、経常損失△281百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失△279百万円という結果になりました (詳細につきましては、本日付で開示しました「2020年10月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」をご参照ください)。

この結果をふまえ、当社は、2019年12月18日に公表した2020年10月期連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

売上高につきましては、情報サービス事業およびHRテクノロジー事業においては堅調に推移しており、概ね期初の予想通りに着地する見通しです。一方、仮想通貨関連事業において、第1四半期に、従前から保有していた活発な市場が存在しない仮想通貨の評価損として売上高から26百万円減額し、その後、第2四半期に当該仮想通貨を売却したことに伴い、期初の想定を下回る見通しとなりました。また、金融商品取引事業において、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響に伴う金融市場の混乱によ

り、トレーディング収益が低迷しており、今後のトレーディング収益においても市場動向の見極めが非常に困難であることから、保守的な見通しに修正することといたしました。

利益面では、第2四半期以降、一層の販管費及び一般管理費の削減を行う予定であります。上述した売上高の減少見通しを補えないことに加え、第1四半期において、期初の想定以上の持分法による投資損失を計上したこと、さらに、第2四半期以降に、持株会社体制への移行による借入契約変更に伴う銀行手数料等、営業外費用を計上する見通しであることから、コスト面の見直しを行い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の見通しを上記のとおり修正することといたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上